

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイキッズスマイル			
○保護者評価実施期間	令和 7年 12月 15日		～	令和 8年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	令和 7年 12月 15日		～	令和 8年 1月 09日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 1月 24日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個々に合わせた支援を提供している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個性を理解し、支援方法を工夫している。</li> <li>・信頼関係を築き、思いを伝えやすい環境作りしている。</li> <li>・職員間で連携を取り、こまめな情報交換で誰でも対応できるようにしている。</li> </ul>	・個々のニーズにあった遊びや活動を増やす。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との連携がとれている。</li> <li>・安心して利用できる事業所作り</li> </ul>	連絡帳、SNS等を使用し、すばやく情報共有できる環境を作っている。	・関係機関との情報共有を行い、統一した支援を行う。
3	・季節に合わせたイベントに全員で参加することで、楽しさや達成感を感じることができる。	事業所で季節ごとのイベントや誕生会を企画し、参加したくなる気持ちを引き出す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員が参加できるような環境づくりをしている。</li> </ul>	・事業所以外で開催されるイベントも積極的に計画し、楽しさを知ってもらう

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用者の家族や(きょうだい)地域の方との交流が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所以外の方との交流を増やしたい。</li> <li>・知り合い以外と関わることに慣れていない子もいる。</li> <li>・直接交流できる機会が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りなど、地域のイベント情報を集め参加する。</li> <li>・ご家族、地域の方が参加できる事業所主催のイベントを開催する。</li> </ul>
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイキッズスマイル				公表日	2026年03月01日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		法令を遵守したスペースを確保しています。また子供の情緒が不安定な状態や活動に集中したい場合など、状況に応じて個室を活用しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	法令が必要とされる配置数を遵守し、ご利用人数に応じて職員を配置しています。	職員数を1~2名増やした方が、よりよい支援、業務の改善ができると思います	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		活動毎に場面を分け、分かりやすいように提示しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日活動終了後に活動場所の清掃や消毒を行っています。	継続していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		児童が分かりやすく活動に取り組めるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		定期的に職員会議や日々のミーティングで情報共有を図っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・モニタリング内容を共有し、活動に反映されている	今後も意見を聞きながら業務改善等に取り組んでいきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎回の会議や朝礼で、職員同士が意見を交換する機会を設け、業務改善につなげています。	今後も継続していきます	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1		外部からの第三者評価を依頼するなどの工夫が必要です。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		必要な情報の提供、様々な研修の参加を行っています。社内研修が充実していると思います。	今後も必要な研修に積極的に参加し、職員の資質の向上を目指します。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			支援プログラムを作成しHP上に公表していきます。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		半年毎にご家族と面談を行い、状態や環境の変化の聞き取りを行った上で支援計画の見直しを実施しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		子どもの最善の利益を考慮した検討が実施されています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		日々のミーティングで職員間の共有を行いながら支援計画に沿った取組みや活動を提供しています。	今後も支援計画に基づいた活動を考え、取り組みを実施していきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		日々、インフォーマルなアセスメントを取り組んでいます。	インフォーマルなアセスメントを実施した際には職員とすり合わせする方法を今後検討していきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		放課後等デイサービスガイドラインの内容をその都度確認し、支援計画に具体的な内容と共に明示しています。	今後もガイドラインの内容に沿った支援内容を検討します。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		職員間で意見交換しながらプログラムを決めています。	今後も継続していきます。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		日々のプログラムが固定化しないように、季節を感じるようなプログラムを企画し実施しています。	今後も継続していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を実施しています。	今後も継続していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		日々の活動を明確にしてミーティングの中で役割分担の確認を行うようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援翌月に職員間の話し合いを実施し、情報の共有に努めています。	今後も継続していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		支援経過記録を毎回記入しています。それを元に個別支援計画見直し時や会議に役立てています。	子どもたちの成長や支援計画に基づいた記録を記入し、日々の支援に活かしていきたいです。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年毎にご家族と面談を実施し、状態や環境の変化の聞き取りを行い、支援計画の見直しを必要に応じて行っています。	今後も継続していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っています。	より具体的な支援内容を打ち出して実施していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		活動の中で選択できる活動を設けています。	自己決定ができる力を伸ばせるように選択できる場面を今後も増やしていきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		必要に応じて児童発達支援管理責任者・指導員と参画しています。	今後も積極的に参加していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3	保健・障害福祉、保育、教育の関係機関と連携して支援を行っています。まだ、不十分な状況ではある。	今後も継続していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校との情報共有をその都度実施して、連絡調整を行っています。	できるだけ保護者から学校へは連絡して持っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		5	ご家族のご希望や必要に応じて情報共有が行えるように努めています。	今後も十分な情報共有できるように努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5	必要に応じて相談支援事業所や移行先の事業所へご家族の了承を得て情報提供させていただいています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		行事を通して地域の子供達と共に活動できるよう計画を立て招待はしているが実現できていない。	今後も活動や行事に積極的に声掛けて交流していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	まだ参加ができていない。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		連絡帳や帰りの送迎で親御さんに直接様をお伝えするなど共通理解を持つように努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1	今後開催を計画していきたいと思えます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に説明しています。	見直しを行う度にその都度ご説明ができるように努めます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		子どもや保護者の意思を尊重し、子どもや保護者の意向を確認する機会を設けています。	今後も継続していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		計画を示しながら支援内容の説明を行い、同意をいただいています。	今後も継続していきます。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		必要に応じて、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言や支援を実施しています	今後も継続していきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		2	来年度は、保護者会を開催しようと思います。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		重要事項説明書に苦情の受付について記載しておりますが、発生時には管理者兼児童発達支援管理責任者が真摯に対応しています。	対応の体制を維持し、苦情があった場合は真摯に対応していきます
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		毎月、子ども達の様子の写真を添えたおやおりを発行しています。	必要に応じて説明を継続していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		職員は入社時に秘密保持の誓約書を提出しており、ご家族に対しては契約時に個人情報の取り扱いに関して同意をいただいています。必要に応じてその都度確認を行っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		個々の児童に合わせた方法で伝達できるようにしている。	今後も一人一人の児童に合わせてコミュニケーションを図り、安心して過ごせる場を提供していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		地域の方々を招待する定例の行事があるため、積極的に招待して取り組んでいます。	今後も継続していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	各マニュアルを策定し職員や家族に周知しています。ご家族には契約時にご説明をしています。	必要に応じてマニュアルを改訂し、その都度、職員間で周知した上で保護者への説明を実施していきます
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		業務継続計画（BCP）を作成し、主に火災を想定した避難訓練を実施しています。	定期的に様々な災害を想定した訓練が今後必要です。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		服薬状況やてんかん発作等の確認を実施しています	契約時だけではなく、変更時や面談時必ず確認を行っています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	食物アレルギーの有無をご契約時に確認しています。	定期的アレルギーについて確認しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を基に安全管理を十分行った上で支援を実施しています	安全管理に必要な研修や訓練に積極的に参加していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるようにその都度職員へ周知してが安全計画の作成は行っていない。	子どもの安全確保に関して、安全計画の作成を行っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットは事業所内で共有し、再発防止に向けた方策をその都度検証しています。	今後も継続していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止に関する研修に参加し、話し合いを実施しています。	今後も継続していきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		やむを得ず身体拘束を行う場合について、法人として決定し、ご契約時にご説明しています。	必要に応じて支援計画に記載します。	